町長エッセイ

成人式が行われた１月１０日、町民会館の周辺は華やかな雰囲気に包まれていました。

小川町では３５４名の若者が大人の仲間入りをしました。今年の成人は東日本大震災３．１１の時に中学校を卒業した若者達です。

全国の成人式では、毎年暴走する一部の若者の姿が映し出されますが、小川町においては新成人の代表によって第１部の式典が始まり、晴れ着で華やいだ会場で粛々と進行しました。

第２部は成人式実行委員会が企画して、ビデオメッセージを上映しました。東中・西中・欅台中・上野台中の恩師の先生方が次々と登場し、お祝いの言葉・思い出・近況等を語る姿が映し出されると、場内には歓声が上がりました。

新成人へのインタビューでは、現在の若者の感覚や小川町への思いに触れることができました。看護学校在学中の男性が「看護師になって小川の病院で働きたいです」と答えた場面があり、若者が小川町に定住できる取組みを考えていきたいと切に思いました。